

14 ビロードキンクロ

(カモ目)

Melanitta stejnegeri

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

シベリア中・東部、中央アジア北東部、モンゴル北西部、カムチャツカ、千島列島北部、サハリンなどで繁殖する。繁殖後は、日本、朝鮮半島、中国などの沿岸に渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、北海道、本州、四国、九州などで越冬する。越冬例も稀にある。海上、海岸、河口などに群れて生息し、潜水して貝類や甲殻類などを採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、粟島、佐渡、隠岐、四国、九州、対馬、五島列島、伊豆諸島



写真提供：木下智貴

(性別：オス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、★姫路市、★明石市、★西宮市、洲本市、★伊丹市、加古川市、赤穂市、南あわじ市、淡路市、たつの市、★香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局地的 繁殖	希少
○	○	○				○			

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に11-翌3月に生息する。1950年代までは瀬戸内の海上に100-500羽の大群が越冬していた。1953年1月には明石市二見沖の海上で12,565羽が記録されたことがある。1970年台半ばに急減し、近年は数羽から数十羽の群れが時々記録される程度に減っている。タンカーや製油所などの事故に起因する重油や化学物質の流出による被害で、海上の群れが大きな打撃を受ける例がある。

保護上の留意点

浅い内湾で潜水して主に貝類や甲殻類を捕食するので、甲子園浜や新舞子の底生生物の保全が重要。併せて、生息海域の海洋環境の保全が重要。特に、重油や化学物質の流出などによる海洋汚染は、その生存に致命的な結果をもたらすため回避する努力が必要。